



事業活動と環境との関わり

ムラタでは事業活動にともなう環境負荷の定量的な把握に努め、これを分析し、生産活動によって生じる環境負荷の低減に努めています。

ムラタの環境負荷

製造時に使用する化学物質とエネルギーの削減が課題

ムラタの製品は、原材料に多くの化学物質を含んでいます。そこで、化学物質の厳格かつ適正な管理の徹底、化学物質の使用量削減に取り組んでいます。

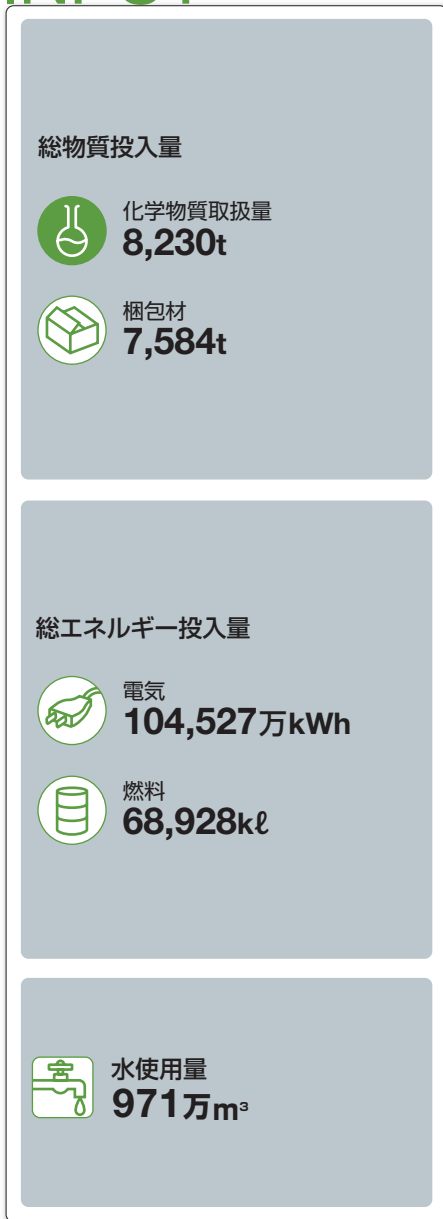
また、ムラタが生産する電子部品は小型でも、これらを製造する際に使用する化学物質の種類と量、消費されるエネルギー量

は、小さなものではありません。そのため生産活動にともなう化学物質の大気や水域への排出とCO₂排出量の削減が重大な課題であり、低減に努めています。

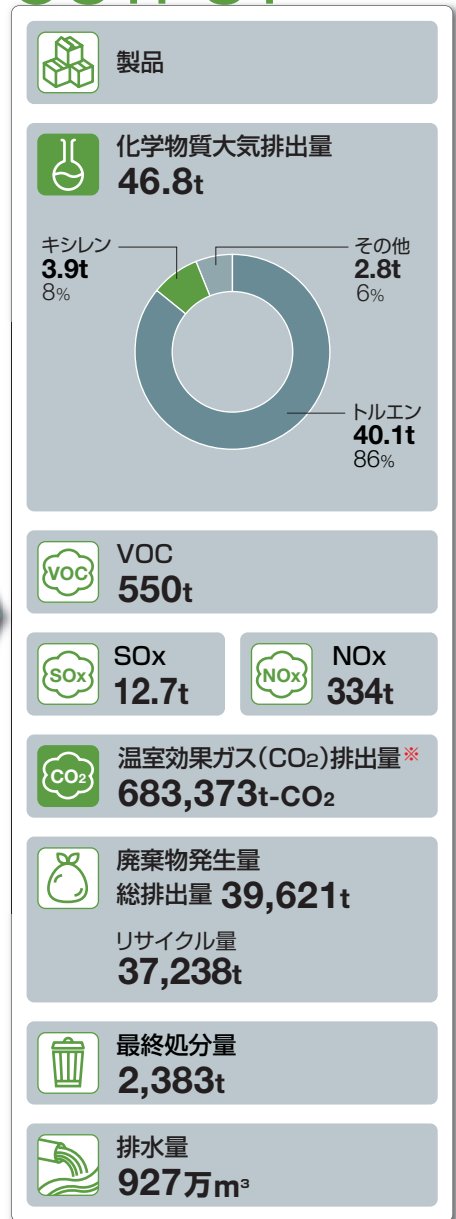
データの算出方法

「総物質投入量」「化学物質排出・移動量」は国内グループの実績を集計しています。その他の項目は、国内グループおよび海外生産拠点の実績を集計しています。

INPUT



OUTPUT



※ 海外の購入電力のCO₂排出係数は、GHGプロトコル(2005年)の各国ごとの係数を使用しています。